

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	安全・安心に関わる知・技術の共有化に必要な経費		担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度・平成28年度		担当課室	科学技術・学術戦略官付 (調整・システム改革担当)		科学技術・学術戦略官 (調査・評価担当) (調整・システム改革担当) 木村 賢二		
会計区分	一般会計		施策名	X-9 安全・安心な社会の構築に資する科学技術の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	日米安全・安心科学技術協カインシアティブ(平成18年5月)第4期科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定)他				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	科学技術協力協定下の「日米安全・安心科学技術協カインシアティブ」の協力枠組み等をふまえ、関係省庁や研究機関等との連携のもと、犯罪・テロをはじめとする様々な脅威から安全な国民生活を確保するための協力を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>○日米バイオセキュリティシンポジウムの開催 生物テロ等の人為的なものから各種感染症の蔓延まで、幅広い生物分野の脅威に対し、公衆衛生措置や医療対策による被害軽減方策も視野に入れた専門家会合を開催し、日米における最新の情報を収集・分析し、課題解決に向けた検討を行う。</p> <p>○犯罪・テロ対策分野における研究開発成果の国際的な実用化の推進 関係者の交流や情報が制限されやすい犯罪・テロ対策分野の研究開発成果を海外に展開すべく、現地調査や、最新技術情報の提供および収集、共同研究や人的交流の促進を行う。</p> <p>○安全な国民生活に資する知・技術を集約したネットワーク構築 国内外の人的交流、研究交流を促進する国内基盤を整備するため、ワークショップの開催等を行い、関係府省庁・専門機関等に対して情報発信・提供を行い、ユーザー側とシーズ側のコーディネートを行う。</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状況	当初予算				17	17	
		補正予算				-		
		繰越し等				-		
	計					17	17	
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	<p>本事業は、将来必要になる可能性のある犯罪・テロ対策技術等の知・技術の共有化を促進する事業であり、定量的なアウトカムを示すことは困難である。</p> <p>なお定性的には、上記技術の国内・日米間の情報共有・協力が推進されることが成果として示される。</p>		成果実績	-	-	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	日米シンポジウム開催回数		活動実績 (当初見込み)	回	-	-	-	-
					(-)	(-)	(-)	(1)
	研究会、セミナーの開催回数		活動実績 (当初見込み)	回	-	-	-	-
				(-)	(-)	(-)	(2)	
単位当たり コスト	5,374(千円/回)(見込)		算出根拠	科学技術試験研究委託費(16,122千円) / 日米シンポジウム、研究会、セミナーの開催回数(回)				
平成24・25年度 予算 内訳	費目		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	科学技術試験研究委託費		16百万円	16百万円				
	諸謝金		0.1百万円	0.1百万円				
	職員旅費		1百万円	1百万円				
	委員等旅費		0.1百万円	0.1百万円				
	庁費		0.01百万円	0.01百万円				
	計		17百万円	17百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、科学技術協力協定下の「日米安全・安心科学技術協カインシアティブ」の協力枠組み等をふまえ、犯罪・テロをはじめとする様々な脅威から安全な国民生活を確保するための協力を推進するものであり、必要とされる情報公開にも限度があるなど、国が主導すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定に当たっては、一般競争入札を実施しており、その妥当性や競争性を確保するとともに単位あたりのコストの削減に努めている。 また、支出先に事前に年度計画に対応した経費の積算を提出させ、精査するとともに、終了後には、書面調査及び現地調査により額の確定行為を実施し、全ての支出先・使途の把握を行うこととしている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	専門的知見を持った研究機関への委託事業として実施しており、実効性の高い事業となっている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>安全・安心科学技術分野において、文部科学省としての任務は、省庁が個別に有するニーズを的確に把握し、共通する研究開発要素を横断的に推進していくことである。このため本事業では、関係省庁、地方自治体等と研究機関等のコーディネートを行い、各機関の横断的なネットワークを構築することとしている。</p> <p>本事業の制度設計段階では、科学技術戦略推進費「安全・安心な社会のための犯罪・テロ対策技術等を実用化するプログラム」における研究開発進捗状況等を参考にしながら、日米間における交流に当たり、効果的な業務内容についての検討を行った。また、調査研究委託など、その他の手段の選択の可能性についても検討した結果、本事業の方策を採用している。</p> <p>執行に当たり、委託については一般競争入札を行ったうえ、受託機関と密に連絡を取り進捗管理を行っているため、現時点で顕在化した課題はない。</p> <p>本事業は、将来必要になる可能性のある犯罪・テロ対策技術等の知・技術の共有化を促進する事業であり、活動指標として日米シンポジウム、研究会、セミナーの開催回数を、定性的な成果目標として上記技術の国内・日米間の情報共有・協力が推進されることを設定している。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>本事業は、執行面における課題もなく、事業の成果目標も立てられていることから、適切な事業と認められる。引き続き迅速かつ適切な予算執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	新24-0024

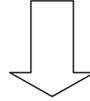
※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省
17百万円

・職員旅費 1百万円
・諸謝金 0.1百万円
・委員等旅費 0.1百万円
・庁費 0.01百万円

を含む

（関係省庁や研究機関等との連携のもと、犯罪・テロをはじめとする様々な脅威から安全な国民生活を確保するための協力を推進する。）



【総合評価入札・委託】

A. 民間企業等(全1法人)
16百万円

（・日米バイオセキュリティシンポジウムの開催
・生物学的リスクの管理に関する国内外の最新動向の調査・分析
・バイオセキュリティ分野の情報発信・提供 等

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）

A. 民間企業等(全1法人)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	バイオセキュリティ分野の国際連携協力に関する研究調査	16			
計		16	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)